

## 報告書

**研修会名：**日本歯周病学会第30回歯科衛生士教育講演会  
(社団法人日本歯科衛生士会 第3次生涯研修)

**主催：**日本歯周病学会(歯科衛生士関連委員会)

**協力：**NPO 法人 静岡県歯科衛生士会

**日時：**平成23年2月27日(日) 10:00~16:00

**場所：**静岡県歯科医師会館 5階 大会議室 (静岡市駿河区曲金3-3-10 TEL 054-283-2591)

**演題：**「歯科医師の立場から歯科衛生士に知っておいて欲しい全身的な知識等」  
「スペシャルニーズのある人の歯周病管理に対する知識等」  
「モチベーションに必要な知識と技術(演習含)」  
「認定歯科衛生士症例発表・日本歯周病学会認定歯科衛生士について」

**講師：** 日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 副委員長  
朝日大学歯学部 口腔感染医療学講座 歯周病学分野 教授 澁谷 俊昭  
日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員  
東京都立心身障害者口腔保健センター 歯科衛生士 主査 石井里加子  
日本歯周病学会認定歯科衛生士  
静岡県歯科衛生士会会員・沼津市 津野 あや

**研修単位：**(1)(2)の両方に該当する場合は、(1)(2)それぞれの単位取得が可能

(1) 日本歯周病学会 会員の場合

・認定歯科衛生士制度における

申請時の教育研修単位 (8 単位)

更新時の生涯研修単位 (10 単位)

(2) 日本歯科衛生士会 会員の場合

・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位(歯周治療の基本技術 計5単位)

- A 初診時に必要な知識と技術 1 単位
- E 歯周治療の補助に必要な知識と技術 1 単位
- C モチベーションに必要な知識と技術 2 単位
- F メインテナンスに必要な知識と技術 1 単位

- 日程：** 9：00 受付  
10：00 開会・挨拶  
10：10 講義 「歯科医師の立場から歯科衛生士に知っておいて欲しい全身的な知識等」  
「スペシャルニーズのある人の歯周病管理に対する知識等」  
12：00 休憩・昼食  
13：00 講義・演習 「モチベーションに必要な知識と技術」  
15：00 講義 「認定歯科衛生士症例発表・日本歯周病学会認定歯科衛生士について」  
15：50 質疑応答 閉会

### 内容：

「歯科医師の立場から歯科衛生士に知っておいて欲しい全身的な知識等」では、前半は、歯周治療の基本的な流れ、医療面接時の質問法や患者に対する接遇態度、診査方法、診断等、初診時に必要な知識と技術について具体的な事例を交えながら解説した。後半は、ペリオドンタルメディシン、全身的风险ファクターや全身疾患を有する患者の口腔内の特徴と歯周治療時の留意点等、歯科衛生士に必要な全身的な知識について講演した。

「スペシャルニーズのある人の歯周病管理に対する知識等」では、特別な対応を要する状態の人に対して歯周治療を行う際、歯科衛生士としてどのようなところに着目し、かかわれば良いかについて講演した。具体的には、対面時から始まる情報収集の方法や計画立案時の留意点、信頼関係を築きモチベーションを上げる支援方法、疾患別歯科診療時の考慮点等を解説した。セルフケアの支援方法では、運動・認知・情意の各領域より歯磨き行動を分析し個々の能力に応じた支援の必要性について触れ、事例を通して解説した。

「モチベーションに必要な知識と技術」では、具体的な事例を提示し「喫煙患者に対する介入」「セルフケアの強化」をテーマに問題点の抽出から重要度や緊急度を考慮した計画立案について演習を行った。

「認定歯科衛生士症例発表・日本歯周病学会認定歯科衛生士について」では、日本歯周病学会認定歯科衛生士取得の流れや試験の実際、口腔内写真の撮影方法等の説明を行い、最後にプレゼンテーションの実際を紹介し終了した。

### 感想：

受講者は、167名（内訳：歯科衛生士会会員65名、日本歯周病学会会員52名、県内外無所属47名、学生2名、歯科医師1名）で、静岡県在住の歯科衛生士だけでなく東京都(21)、神奈川県(11)、埼玉県(7)、千葉県(6)、栃木県(3)、山梨県(2)、新潟県(1)、長野県(1)、愛知県(3)、岐阜県(3)、大阪府(2)、兵庫県(1)、京都府(2)、滋賀県(2)、北海道(1)と他府県からの参加者も多く全体の約40%を占めていた。アンケート結果からは、「関東地方での教育講演開催」を希望する声も多く認められ、日本歯周病学会認定歯科衛生士取得者の多い関東地方における教育講演開催の少なさが要因の一つとして考えられる。

講演の反応は、「歯周病に関する基礎知識の確認、再確認ができた」「演習は楽しかった、問題点抽出が勉強になった」「スペシャルニーズのある人への対応では、具体的な分かりやすい説明でとても参考になった」「認定歯科衛生士の話が聞いて良かった」と良好であった。特に日本歯周病学会認定歯科衛生士取得者による講演は、具体的で認定歯科衛生士取得予定者（アンケート結果：30名）にとって大変有意

義であったようである。しかしその反面、アンケート結果からは34名の日本歯周病学会認定歯科衛生士が参加しており、更新者を意識した講義内容の必要性を感じた。

今後は、認定歯科衛生士取得者の多い関東地方の教育講演の開催や更新者向けの内容が検討課題と思われる。

以上  
文責

日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 副委員長 渋谷 俊昭  
日本歯周病学会 歯科衛生士関連委員会 委員 石井里加子



演者と静岡県歯科衛生士会学術部



講演中の会場風景



演習の様子



講演の様子